

## 多目的ホール検討

### プロポーザルにおける多目的ホールの考え方

基本計画に則り、多様な活動が実現できるよう可変性の高い多目的ホールを計画した。  
 具体的には、日常時・イベント時・災害時において、ホールを下記のように利用できるように計画することが基本計画において定められた。

- 日常時  
 最大6分割を可能とし、会議・研修室エリアと軽スポーツエリアとして計画。  
 会議・研修室エリアは中～大会議室として利用でき、軽スポーツエリアは天候に左右されず多世代が自由に遊びや軽スポーツを楽しめる。
- イベント時  
 座席数は240席程度を確保する。
- 災害時  
 福祉避難所も兼ねた住民の避難所として利用する。

### 基本設計で出た意見

町民団体や行政職員等へのヒアリングを行った中で、ホールの仕様について、下記のような意見が出た。

- ・移動観覧席がほしい
- ・固定ステージ（下部椅子収納）をつくり、地元木材を活用しては
- ・釜塚の茶畑がステージの背景になるよう計画し、景観資産を活用しては
- ・20人～40人程度の会議が多いという利用実態から、日常時は2分割が良いのでは

### 3案の比較検討

プロポーザル案を踏襲した案、基本設計の中で出た意見を反映したホール案（2案）を作成し、3案の比較を行った。

	A 移動ステージ案(プロポーザル案)		B 固定ステージ案		C 固定ステージ、移動観覧席案	
	日常時(345日程度/年)	イベント時(20日程度/年)	日常時(345日程度/年)	イベント時(20日程度/年)	日常時(345日程度/年)	イベント時(20日程度/年)
イメージ図						
日常時の 使いやすさ	平土間部分面積：270㎡ 移動壁により2～5室の部屋に分割可能 活動規模に合わせて部屋の大きさをを選択できる		平土間部分面積：216㎡ 移動壁により2室の部屋として分割可能 利用実態(20～40人規模の会議が多い)に合わせた部屋の大きさ		平土間部分面積：180㎡ 移動壁により2室の部屋として分割可能 利用実態(20～40人規模の会議が多い)に合わせた部屋の大きさ	
催事時の 使いやすさ	ステージと椅子の設営に人手が必要 倉庫内の物がホールに出る事で、倉庫を控室として利用できる ステージの背景に景観資産を活用		椅子の設営に人手が必要 ステージ下部を収納とする事で、準備室を計画できる ステージの背景に景観資産を活用		椅子の設営に人手が必要 ステージ下部を収納とする事で、準備室を計画できる ステージの背景に景観資産を活用 移動観覧席により段床の客席が計画できる	
コスト	約490～770万円 ステージ 約280万円、スタッキングチェア 約490万円 ※ステージをレンタルする場合：15～20万円/回		約770万円 ステージ 約280万円、スタッキングチェア 約490万円		約4,440万円 ステージ 約280万円、スタッキングチェア 約290万円、移動観覧席 約3,870万円	

